令和５年度小川町立東中学校経営方針

１　令和５年度小川町教育行政重点施策の基本理念

自立と自尊の小川町の教育

～ふるさとと他者と自己を愛し、生きがいを広げる町～

２　校訓　　より深く　より強く　より美しく

３　教育方針

（１）学校教育目標　　「自尊感情を育み、夢と希望に挑戦する生徒の育成」

○知：進んで学ぶ生徒

○徳：心豊かな生徒

○体：身体を鍛える生徒

（２）目指す学校像　　「笑顔・感動・挑戦する精神にあふれ、誰もが誇れる学校」

《学校経営方針》　　誰もが通いたく（通わせたく）なるような学校

１ 生徒が安全に、安心して登下校し、学習活動できる環境を確保する

２ 生徒一人一人が意欲的・主体的に活動し、満足感や充実感が味わえる学校とする

３ 全職員の協力と創意で、生気溢れる学校とし、不登校生徒を減少する

４ 社会の変化に対応し、常に前向きに教育活動に取り組める学校とする

５ 地域との連携を強化し、協力関係を深めるとともに、相互信頼を深める

６ 学ぶ場にふさわしい、清潔で潤いのある教育環境を整える

４　本年度の重点・努力点

１ 心豊かな生徒の育成	①道徳科の時間の質的充実・量的確保 ②生徒会活動の推進 ③あいさつ運動の推進
２ 生徒の安全・安心の確保	①施設・設備の定期的点検・修繕 ②交通安全教室・避難訓練の充実 ③自転車マナーアップの推進 ④性に関する指導・いじめ防止の推進
３ <u>確かな学力の定着</u>	①授業力の向上（教師の学び合い高め合い） ②学習・授業規律の確立 ③学級経営の充実 ④家庭学習ノートの充実 ⑤実力テストの活用 ⑥タブレットを活用した授業改善
４ <u>自他を大切にする生徒</u>	①規律ある態度の育成 ②人権教育の推進 ③積極的生徒指導の推進 ④特別支援教育の充実推進
５ 地域との絆の深化	①学校公開の推進 ②ボランティア活動の充実 ③おがわ学の推進

6　学ぶ場にふさわしい環境づくり	①清掃活動の充実 ②花いっぱい活動 ③場に応じた、温かみのある言葉 ④学ぶ場にふさわしい学習環境づくり

5　目指す教師像

1　組　織：　組織の一員として、高い使命感と強い責任感をもつ教師
2　熱　意：何事にも誠意と熱意を持って対応できる教師
3　向上心：絶えず研修に努め、自らの指導力の向上に努める教師
4　信　頼：良い授業が行われ、良い人間関係が築かれ、地域を大切にする教師
5　常　識：社会人としての自覚ある行動のできる教師

令和5年度小川町立東中学校教職員心得

【教職員として心すること】

〇生徒指導がすべての教育活動の基盤→「共通理解・共通行動」　で指導にあたる。

あいさつ　・　返　事　・　清　掃

〇生徒指導の根幹は学級経営と授業

・ 学年を越えた生徒指導の実施・・・生徒指導は学校全体で

・全職員が目に見える形で指導し、質を高める。
・保健室やさわやか相談室との密な連携
・問題は迅速に早期対応、早期解決を図る（危機感の共有化）
・不登校生徒への対応強化・・情報収集及び記録の蓄積、担任との連携強化、町相談室との連携
・欠席がちを見過ごさない、放置しない（家庭との連絡を密に保つ）
・日頃から人間関係、信頼関係を深める中での毅然とした指導
・報告・連絡・相談をきめ細かく実施、見届けをする（全職員で育てる意識保持）
・いじめについては即時対応し、当事者に対する継続的指導と共に、日常の「いじめを許さない空気」を醸成する（＜人権教育の推進＞）
・生徒による自治的活動の推進・・・生徒会本部及び委員会活動の推進。学級活動の充実。
＊よりよく成長しようとする一人一人の生徒が互いの良さや可能性を認め合い、 生かし磨き合い、高め合う集団を育成しながら、個々の生徒のよりよい成長を促していく。個と集団がともに成長していくプラスのスパイラルを目指す。
・小・中連携した生徒指導の推進
・身近な先輩によるキャリア教育、進路指導の体験的指導

〇　教科指導（学力の定着）

基礎的・基本的内容の定着が生徒自身の進路実現（自己実現）となる。
家庭学習の習慣化を徹底する。

・各教科による統一した「学力向上」対策の実施
・復習を中心に学習を進め、基礎的・基本的内容の定着を図る。
・家庭学習ノートの充実と自主的学習の推進
・難しいことをやさしく、やさしいことを面白く教える工夫
・反復練習の徹底・・・声を出して唱えさせる。（小学校・宮沢賢治「雨にも負けず」）
・学習の規律を身に付けさせる
・効果的な補習授業（夏季休業、テスト週間）
・３年実力テストの充実　→　公的テストと学力検査得点の分析
・1、2年生実力テストの実施（1月）
・タブレットを活用した授業改善

○ 小・中の具体的連携

・小学生による中学校訪問（校舎内・授業見学、体験授業）
・中学3年生による母校での中学校紹介（6年生対象）
・入学一月後の情報交換会（中1担当と旧小6担任）
・授業交流会（道徳）の実施（ 中 ⇔ 小 ）

○ 豊かな心の育成

・年間計画に基づく特別の教科道徳の時間の質的充実・量的確保
・特別活動を通して自主的で自律的な集団を育成する。
・体験的な活動を通して、協力・助け合い・思いやり・根気などの心を養う
（各種ボランティア活動、清掃活動、部活動、奉仕作業、あいさつ等々）

○生徒事故の防止

・定期的・日常的な施設・設備の点検及び修繕
・交通安全指導の徹底（自転車点検、登下校指導等）
・避難訓練の工夫・充実
・命を大切にする指導（道徳、学活等）

○ 教職員事故防止

・いつでも、どこでも細心の注意を払う
・「これくらいは」という意識を捨てる
・常に教育公務員であることを意識する
・個から全体の問題へとなることを意識化する
・体罰、行き過ぎた指導の厳禁
・独善的な行為が社会的に受け入れられるかどうかの価値判断の重要性

○ 家庭・地域、他機関との連携

・PTA 活動への参加・協力
・学校公開の充実を進める（年間3回）
・家庭学習の充実について、あらゆる場で依頼する（保護者会等々）
・PTAの交通指導、補導、挨拶運動の継続支援を図る
・ネットワーク連絡会の継続
・スリーデー（？）チャレンジの再開
・保護者アンケート、学校関係者評価学校評価の効果的活用

○ 教職員の資質の向上

・年次研修の活用
・学校指導訪問の活用
・計画的な研修実施

初　心　に　立　ち　返　る

1　「おはよう」はその日を計るバロメーター、「さようなら、お先に失礼」はその日の充実度

2　名前を正しく、早く覚えるのがまず第一歩

3　手を焼かせる子どもが、教師を育てる

4　子どもは不公平さを嗅ぎ分ける天才

5　『できる』という言葉は、子どもを意欲づける

6　叱るときは、全力でカラッと叱る

7　いつでも、どんな時でも、笑顔で子どもの前に立てる教師

8　一言が、子どもに重大な影響を及ぼすことを考えている教師

9　自信と謙虚さを失わない（心棒と辛抱のある）教師

10　豊かな眼をもつ教師（私たちは社会人である）

時を守り　　場を清め　　礼を正す